

平成28年度 山梨県立甲府工業高等学校 全日制 学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 新しい時代を主体的・創造的に生きる、逞しくもしなやかな心を持ち、豊かな人間性・社会性をそなえ地域に貢献できる工業技術者を育成する。

山梨県立甲府工業高等学校 校長 沓間 正

本年度の重点目標	1 社会に通用する人間力を持った人材を育成する。	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 確かな学力の向上を図り、生徒の希望進路を実現する。		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 部活動を積極的に推進し、心身の健全育成に努める。		C 不十分である。(4割以上)
	4 時代のニーズに対応した、教育活動を推進する。		D 達成できなかった。(4割未満)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			平成28年度末評価(平成29年2月1日現在)		
番号	評価項目	具体的方策	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	社会に通用する人間力を持った人材を育成する。	無遅刻・無欠席の基本的生活習慣の徹底を図る。	毎日の始業前遅刻と本遅刻者に対する事後の指導に重点を置いた。1学期は、学校全体の出席率が99.6%、2学期は学校全体の出席率が99.4%であった。 ・交通講話や原付安全運転講習会、チャレンジ123への参加等、交通事故・違反減の取り組みも重点を置いたが、12月末時点で交通事故が23件、違反5件と非常に多い状況であった。特に自転車による登下校時および登壇口で事故が多発して今年度も昨年度以上に留意。 ・地域社会や企業との連携も継続的に実施した。ボランティア部が主催し定期試験後に実施しているボランティア活動には、第1回84名、第2回101名、第3回41名の生徒・教職員の参加のもと、学校から甲府駅北口までの歩道と北口の甲府市歴史公園内や水路の清掃を行った。また1年生は企業現場実習を実施した。現場で働く技術者の様子を肌で感じることで、働く意義や進路決定への意欲も高まり学習意欲も高められたものと思われる。2年生の機械・電気・電子の各科は1月に県内の企業をクラス毎に見学、建築科・土木科は建設業協会の協力の下、全学年で現場見学会を実施した。	B	・「出席率100%、皆勤者100%」を目標に、全ての生徒が基本的な生活習慣の確率が23%より学年・学科・部活動等で連携しながら日々指導を継続する。 ・「交通違反・事故0」を目標に、特に自転車利用者の登下校時における事故防止に力を入れた指導を徹底していく。 ・希望制によるボランティア活動であるが一人数最低1回を目標に取り組みよう指導して行く。
		規範意識や社会性の高揚を図る。	免許取得希望者への指導と、交通事故・違反生徒への指導の徹底		
		地域社会や企業との連携を図る。	ボランティア活動及び企業現場実習の実施		
2	確かな学力の向上を図り、生徒の希望進路を実現する。	主体的・協働的な学びの授業(アクティブラーニング)を実践する。	相互授業参観及び研究授業の実施		
		就職希望生徒の第1希望内定率100%を達成する。	面接及び作文指導の充実	A	・生徒が主体的・協働的な学び(アクティブラーニング)ができるような展開を全ての座学授業で単元の中に取り入れることを強力に推進していく。 ・就職及び進学希望生徒の第1希望合格率100%を目標に、事前の指導を更に充実させていく。
		進学希望生徒の第1希望合格率100%を達成する。	面接及び小論文指導の充実		
3	部活動を積極的に推進し、心身の健全育成に努める。	部・委員会活動をより活発に展開し、豊かな人間性を育成する。	年間指導目標・年間指導計画の作成	B	・勝利至上主義にならない、豊かな人間性を育成できるような部・委員会活動を更に推進するために、年間目標をしっかりと立てて指導して行く。 ・安全に関する知識を高める講演会を実施するとともに、健康・食も含めた自己管理能力が育成できるように各部・委員会で強力に取り組んでいく。
		健康、安全や食に関する知識を高め、自己管理能力を養う。	各種講演会の実施		
4	時代のニーズに対応した、教育活動を推進する。	信頼される学校づくりを推進する。	「学校評価アンケート」「オープンスクール」「授業公開日」の実施		・中学生・保護者並びに中学校教職員向けに、継続して本校のPR活動を行う、オープンスクールへの参加で本校の様子を知ってもらう。
		国際理解教育を推進する。	韓国姉妹校清州工業高校との交流	B	・次年度は9月に清州工業高校へ訪問し交流を深めるとともに、10月には100周年記念式典に招待する。
		各学科ともメインの県内コンテストで優勝を達成する。	早期放課後課外、長期休業中の指導計画と実施		・各学科メインの県内コンテストで優勝1回以上を達成できるように、授業や早期放課後課外、長期休業中の指導を綿密に計画し実施する。

学校関係者評価	
実施日(平成29年2月11日)	
評価	意見・要望等
3	・前年度の交通事故・違反が平成29年度は減少するような指導の徹底をお願いします。 ・掲げられている具体的方策についてはどれも人間力の基本であります。自己評価結果を拝見すると先生方の御苦労の跡を監じます。とはいえ基本であるがゆえに来期は「A」を目指していただければ幸いです。 ・生徒の出席率が99%を大きく超え、中には100%のクラスもある状況は大変素晴らしいと思います。毎朝の遅刻指導も含めた先生方のご努力の結果だと思います。それでも、学校あげて出席率100%を目指す努力は必要だと思いますのでがんばってください。
4	・生徒の学力向上の取り組みを充実させて、就職・進学希望生徒の第1希望合格に支援・指導をお願いします。 ・就職内定状況、進学内定状況については多大なる成果が出ていると感じます。就職については、単に内定率だけではなく、入社後の本人の満足度の高いものも見えてきた気が致します。在学中に以下に企業研究ができたかということの指標になると考えます。 ・多大な御苦労に感謝申し上げます。生徒達も喜んでいただいております。アクティブラーニングを含めた新たな学習指導法に大変多くの先生方がチャレンジされ、成果をあげていることは、生徒達にとって大変ありがたいことだと思います。 ・結果として今年度に進路実績に親られるように、生徒達の多くが希望の(あるいはそれ以上の)進路実現を果たすことに繋がっていくのだと思います。 ・進路担当の先生方のご努力も含めて、学校全体が生徒の為にと言う気持ちでがんばっておられる様子が伝わってきます。
3	・体育局は総体や各種大会で好成績、野球では甲子園出場等の明るい話題が欲しい。また学芸局や委員会においても大きな成果があげられるよう、支援・指導をお願いします。 ・勝利至上主義ではなく豊かな人間性を育成する為の部活動であるという位置付けは素晴らしい。今後もしっかり取り組んでいきたい。また、私学単位に限りならぬスポーツの領域において総体上位という結果は各位の努力の賜物であると感じます。 ・運動部は今年もよく頑張った。総体での総合優勝こそありませんでしたが、公立高校トップの位置をよく守ってくれました。また学芸局も例年以上の成果をあげており、これらのことは生徒達の自信につながっていくことと思いますが、さらに上を目指す意識も持ち続けて欲しいと思います。 ・次年度の体育局の活動については、豊かな人間性の育成と共に関東大会やHに1つでも多くの部が出場し、少なくとも「高校総体の優勝」を必ず掲げ、また「夏の甲子園出場」も目標に掲げるべきではないでしょうか。目標達成のために、優秀な人材の確保に努め、厳しい指導のもと日々努力している甲府工業を誇るべきではないでしょうか。
3	・平成29年度も本校PR活動を継続し、オープンスクール申込参加が増えるように努め、100周年記念式典が無事終了するようにお願いします。 ・工業高校の定員が増やしにくい状況の中、その定員にいかにより優秀な人材を多く確保するかどうかという点も、課題のひとつと考えます。優秀な工業人材を世に送り出す社会的ミッションを高次元で実現していただきたいと思っています。 ・HPを活用したり、中学校訪問やオープンスクールの開催などPR活動は今の時代に大変重要だと思いますので、今後も是非続けて頂きたいと思っています。 ・各科学徒の資格取得状況や各種コンクールでの活躍は素晴らしいと思いますし、その様子から各科の先生方の指導におけるご努力や生徒の頑張りがよくわかります。

備考 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。